

保育所及び認定こども園における自己評価

本年度の本園の保育・教育全般を総合的に評価し、次年度の保育・教育に活かせる方向で記入して下さい。

・ A B C Dの4段階評価です。該当する欄に○を付けてください

- A : たいへんよい
- B : よい
- C : 一部検討を要する
- D : 改善を要する

保育所・こども園名 長野保育所

自己評価の観点		前年度 の評価	本年度 の評価
1. 園の保育理念・保育方針・保育目標の理解について			
① 会の保育理念、園の保育方針・保育目標を理解し、かつ課題を共有している		B	A
評価の根拠	・全員で共有できるよう会議を重ね、議事録から参加してない職員とも連携をとっている。・各保育室に掲示しており、理解している。 ・会議での周知、議題があれば話し合い共有している。・クラス担任と課題共有をしている。・配慮時への個別計画が立てられている。		
今後の改善・充実	・より連携がスムーズにできる方法を探る。・新しく入った職員を通して、再確認も必要。 ・会や園の保育目標を振り返る機会を定期的に作る		
2. 保育について			
① 一人ひとりの子どもの発達状況に配慮した指導計画となっている		A	A
② 年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定している		B	A
③ 評価、資料（諸記録）を集積している		B	A
④ 園内の清掃がなされ、清潔に保たれ、子どもが心地よく過ごせるよう配慮している		B	A
⑤ 気候や子どもの活動にあわせ、温度・湿度・換気、照度など配慮している		A	A
⑥ 季節の草花などを飾るなど、保育の中で子どもが季節感を感じるように配慮を行っている		B	C
⑦ 子どもの意欲を高めるような遊びの準備や配慮ができています		B	B
⑧ それぞれの子どもに関する必要な情報を共有している		A	B
⑨ 保育についての話し合いをよくしている		B	B
⑩ 保育士自身が楽しんで保育をしている		A	A
⑪ それぞれの役割を把握し、適切な動きができています		B	B
評価の根拠	・子ども一人ひとりの快適に安全に過ごせるよう配慮している。・子ども一人ひとりが楽しく元気に登園できるよう職員で連携し努めている。 ・職員だけではなく、パート・アルバイト皆で、情報を共有できるよう話し合いを定期的に行っている。 ・なかなか草花に触れたり、飾る機会がなかった。・職員間では連携をとり、それぞれが適切に動いているとかんじる。		
今後の改善・充実	・子どもの成長に合わせた変化の連絡を確実に伝え合う。・園全体で考えを統一していく。 ・それぞれが役割を意識した行動をとる。・園庭の草花等を積極的に取り入れていく。・ウェブの活用で環境を整えていきたい。		
3. 健康管理について			
① 日々の園児の健康状態を観察し、一人一人の体調に合わせた保育を心がけている		A	A
② 玩具、遊具等については、常に衛生的に保持している		B	B
③ 乳幼児突然死症候群（SIDS）や感染症等の予防の対策やマニュアルが用意されている		A	A
評価の根拠	・子どもの様子を伝え合い配慮した保育内容になっている。・玩具は毎日の消毒をおこなっている。コロナ禍もあり更に記を付けていく。 ・健康管理に関しての研修に、参加して周知している。また、保護者との連携をとり、子どもの体調に合わせた保育に心がけている。		
今後の改善・充実	・引き続き体調の管理、日々の消毒徹底。・子どもの健康観察や生活の中での変化に留意している。 ・消毒を定期的に行うルールを確認し改善する。・玩具の取り扱いを共有し決める。		
4. 行事について			
① 行事の種類や実施回数は適切である		C	B
② 行事のねらいを計画や実施に十分生かしている		B	A
評価の根拠	・季節や文化に応じて、それぞれを感じられる行事になっている。・コロナ禍の中、行事の見直しを行った。その都度話し合い決めていく。 ・行事後の反省からの見直しを行い、次回の行事に繋げ実施している。		
今後の改善・充実	・コロナ禍においても、工夫しながら無理なく参加し、楽しめるようにしたい。 ・出来ることを子どもたちの興味に合わせて変化させていく。		
5. 食育について			
① 食育を通して子どもたちが楽しく食べ、食べる意欲が育つように工夫している		B	B
② 旬のものと季節感のある食材を用意し、食文化を伝える工夫をしている		A	A
③ 調理担当者と子どものコミュニケーションが図られるようにしている		B	B
評価の根拠	・旬の食材を使い郷土料理を取り入れる等食文化を伝える工夫がされている。・コロナ禍で、調理担当との関わりが少なかった。 ・保健衛生で食育等の話しをしている。 ・旬の食材のメニューが季節を通して多く取り入れていた。給食室とのコミュニケーションがコロナ禍でとりづらかった。		
今後の改善・充実	・コロナ禍の中、出来ることを模索していく。		
6. 運営について			
① 園長や主任・職員の役割分担と責任が明確にされ、園児や保護者への迅速な対応ができる体制がある。		A	A
② 各種会議を適切かつ効率的に進めている		B	B
③ 打合せ回数、時間、内容は適切である		B	B
評価の根拠	・よりよい保育に繋げるよう、会議を積極的に行っている。・ケース会議、リーダー会議を経て職員会議で全体への共有を行っている。 ・必要な時に会議をその都度開催している。・会議の回数は適切だが、時間内に終わらない。		
今後の改善・充実	・会議を効率的に行う。・短時間で話し合い。こまめに短く行う。		

自己評価の観点		前年度 の評価	本年度 の評価
7. 保健・安全指導について			
① 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じている		B	A
② 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施している		A	A
③ 事故や災害に適応できるマニュアルをすぐに見ることができるようにしている		B	A
④ 廊下に落ちているものを拾ったり、トイレのスリッパを揃えたり意識している		A	A
⑤ 室内の衛生、クラス廻りの清掃に心がけ気持ち良い環境に心がけている		A	A
評価の根拠	・安全面に関しては、気になる事は上司に報告を速やかに行い点検した。 ・コロナ禍もあり、保健衛生に留意している。 ・マニュアルや計画も見直し、それに基づいて実施している。 ・定期的な訓練、衛生面、安全面に留意している。		
今後の改善・充実	・全職員で、マニュアルを確認する。 ・反省、見直しは来年度に生かす。		
8. 研修・研究について			
① 実践研究に取り組み、日常の保育に生かし、子どもの育ちに反映させている		B	B
② 部内・部外研修への参加態勢の充実を図っている		A	A
③ 研修報告を園内で実施している		A	A
評価の根拠	・職員会議で研修報告を行っている。 ・研修報告はするが、実践出来ていないと感じる。 ・実践出来ることは、すぐに取り入れている。 ・研修には、積極的に参加し、報告・日々の保育の振り返り見直しを行っている。		
今後の改善・充実	・保育にいかす方法を増やす。 ・保育の振り返りから、改善できるところは実践する。 ・園内研修がもっと活発になると良い。		
9. 情報について			
① 園児の個人記録は個人情報保護法に基づいて管理・保管している		A	A
② 園内で知り得た事柄について守秘義務を徹底している		A	A
③ 各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理している		A	A
評価の根拠	・個人情報等の書類は、鍵の付いている場所に保管している。 ・マニュアルに沿っておこなっている。 ・情報管理はしっかりできている。 ・守秘義務の取り扱いに職員一人ひとりが気をつけている。		
今後の改善・充実	・限られた時間の中で、記録簿ができるよう効率良く進める必要がある。		
10. 設備について			
① 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っている		A	A
② 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用している		A	B
評価の根拠	・点検を計画的に行い、安全面で必要なことは相談している。 ・点検等定期的に行っている。 ・コロナ禍に伴い、掲示板よりコドモンや保護者への発信を積極的に行っている。		
今後の改善・充実	・掲示板、コドモンを継続的に活用していく。 ・ヒヤリハットの活用で安全過ごせるようにする。		
11. 保護者支援について			
① 子どもの送迎時に子どもの様子を伝えあうようにしている		A	A
② クラス懇談や個別懇談を行っている		A	A
③ 入園説明会やクラスごとの懇談会などでは保育内容や目的をわかりやすく説明し、情報提供を行っている		A	A
④ 保育参観等の機会を設け、保護者に保育を理解してもらう工夫をしている		A	A
評価の根拠	・子どもの様子をこまめに伝えている。 ・コロナ禍の中、分散しての保育参観を行った。 ・コドモンを利用し、子どもの様子をドキュメンテーションで送信した。 ・コロナ禍の中、クラス懇談会が行えなかった。		
今後の改善・充実	・コロナ終息後、クラス懇談会を実施する。 ・保護者が園内の状況を知る事ができる工夫をしていく。 ・必要に応じて、個別の対応をとる。		
12. 開かれた保育所づくりについて			
① 園庭や保育室等を、地域の子育て親子等に解放している		A	A
② 職員による育児に係る「子育て相談」は充実している		A	B
③ 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供している		A	A
④ 中高生の職場体験や実習生の受入を体制について、その意義や方針を全職員が理解している		B	A
⑤ 来客や地域の方に明るく挨拶をしている		A	A
評価の根拠	・受容によって、受け入れている。 ・地域の協力、発信が出来るよう支援センター、お便り、ＨＰ等の開示提供を行った。 ・コロナ禍の中地域等の交流が出来なかったが、関係地域施設等へ子どもたちの手工作品を活かした物をお渡した。 ・実習生の受入れはしているが、意義や方針の理解は出来ていない。		
今後の改善・充実	・地域等に何が出来るか考え行動する。 ・地域の方の参加できる機会を工夫する。		
13. 情報発信について			
① えんだより、すこやかねっと等で、情報発信に努めている		A	A
② 行事や子育て支援等を、地域や小学校等に対して周知している		A	A
評価の根拠	・ＨＰ利用。主任会。幼保小連絡会。 ・コドモンを活用し、情報発信ができています。 ・子どもの様子や毎月１回のおたよりの発信。		
今後の改善・充実	・情報発信（コドモン）継続していく。		